

とっとり横断サイクリングルート (愛称：鳥取うみなみロード)の供用

鳥取県 県土整備部 道路企画課 安全施設担当

○はじめに

鳥取県では、県内外のサイクリストをはじめ、外国人旅客の方にも鳥取の自然を楽しんでいただけるサイクリングの聖地化を目指し、新設自転車歩行者専用道や既設道路の利活用を組み合わせながら県内各所でサイクリングルートの整備を進めています。

本年3月22日には、とっとり横断サイクリングルート（愛称：鳥取うみなみロード）の一部となる「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の全線供用開始に合わせ、鳥取うみなみロードも全線供用となりました。今回はこの供用開始までの取組内容をご紹介します。

○「鳥取うみなみロード」の概要

「鳥取うみなみロード」は鳥取県内を東西に横断するサイクリングルートで、東のJR東浜駅（岩美郡岩美町）と西のJR境港駅（境港市）を結び、全長は約140kmとなります。

「鳥取うみなみロード」の名前のとおり、日本海の美しい風景と心地よい海風を感じながら、浦富海岸、鳥取砂丘、青山剛昌ふるさと館、水木しげるロードなどの県内有数の観光地を巡ることができるルートです。

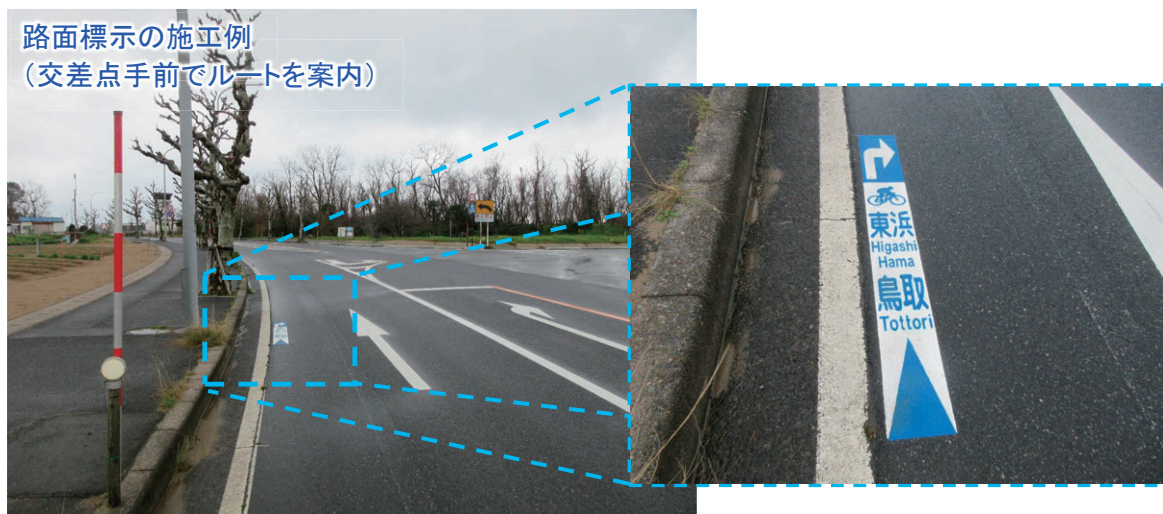
ルート設定においては、土地勘のない県外・海外のサイクリストでも迷わずに東西方向に移動できるよう鳥取県の東西軸である国道9号を主軸にするとともに、輪行を利用して目的や体力に応じて色々な楽しみ方ができるようJR山陰本線、境線との連絡性にも配慮しました。

なお、国道9号については、並行する山陰道の鳥取西IC～青谷IC間の開通（2019年5月）後の交通状況を関係者で調査した上で、最終的なルート設定を行いました。



○サイクリングルートでの整備内容の例

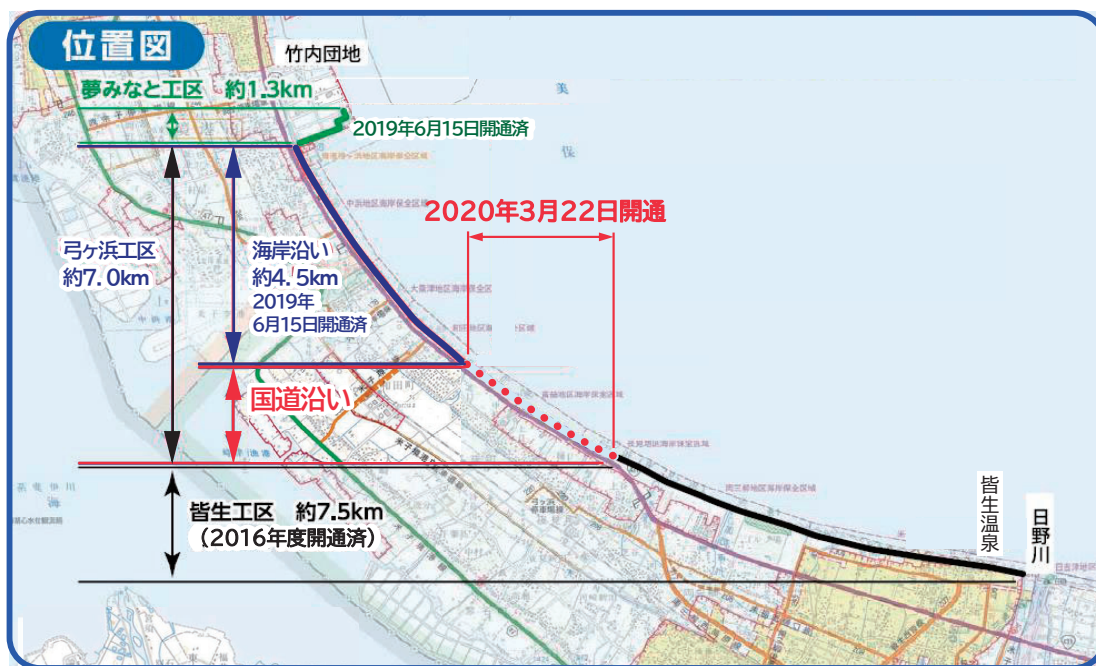
「鳥取うみなみロード」では、初めて走行される方でも迷わず安心して東西を往来し、本県の観光、食事を楽しんでいただけるよう、路面標示を施工するほか、沿線の店舗の協力を得て「コグステーション（拠点施設）」、「サイクルカフェ（飲食店）」、「サイクルポート（コンビニエンスストア）」を設けています。



○「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の概要

「鳥取うみなみロード」は東部ルート、中部ルート、西部ルート及び弓ヶ浜ルートの区間ごとに整備を進めました。弓ヶ浜ルートの中心である「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」は、夢みなとターミナル（境港市）と皆生温泉（米子市）を結ぶ全長約 15.8km のコースであり、このうち弓ヶ浜工区の約 7.0km は国道 431 号の自転車歩行者専用道として整備しました。

周辺の景色は温泉街、松林や砂浜など変化に富み、日本海の手風と大山や島根半島の眺望を楽しみながらサイクリングができます。また、全体的に勾配が平坦で、道幅が広いことから、サイクリストはもちろん、初心者や家族連れでも安心してご利用いただけるうえ、ジョギング、ウォーキングにも最適です。



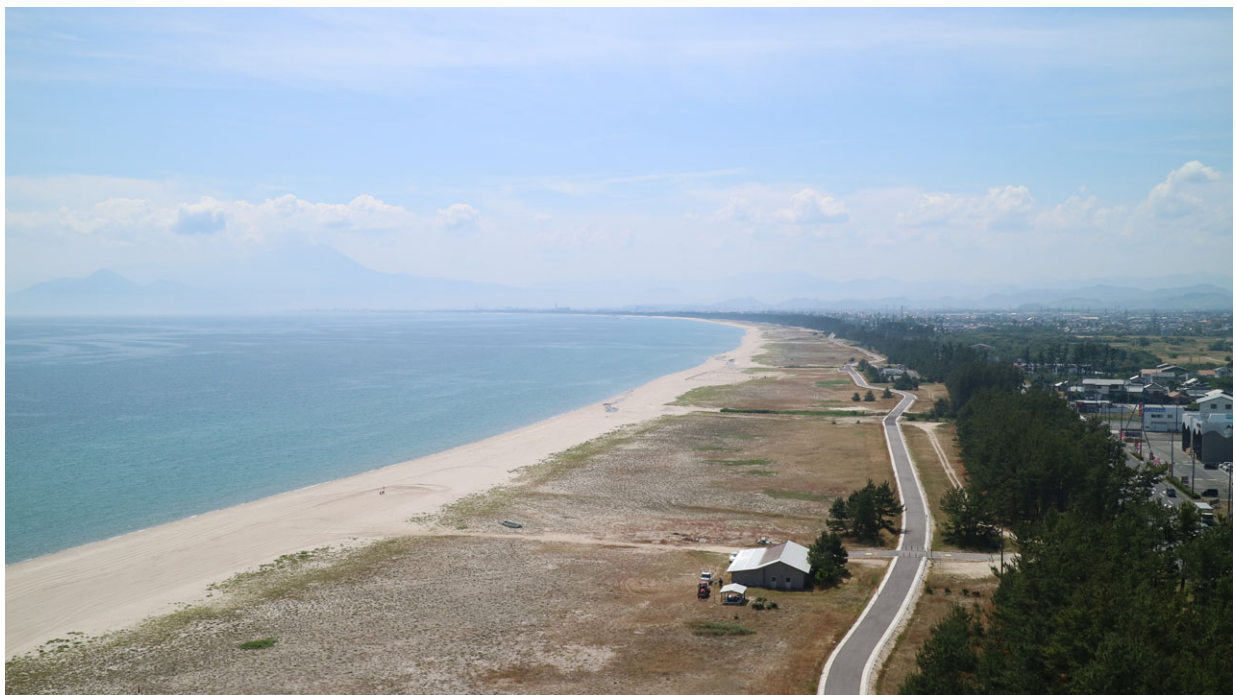
工区名	夢みなと工区	弓ヶ浜工区	皆生工区
事業期間	2017年度～2018年度	2015年度～2019年度	2013年度～2016年度
事業箇所	境港市竹内団地	境港市高松町～米子市夜見町	米子市夜見町～皆生新田
延長	1.3km	7.0km	7.5km
幅員	4.0m	4.0m	3.0m
事業費	86百万円	1,131百万円	100百万円

○「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」の取組

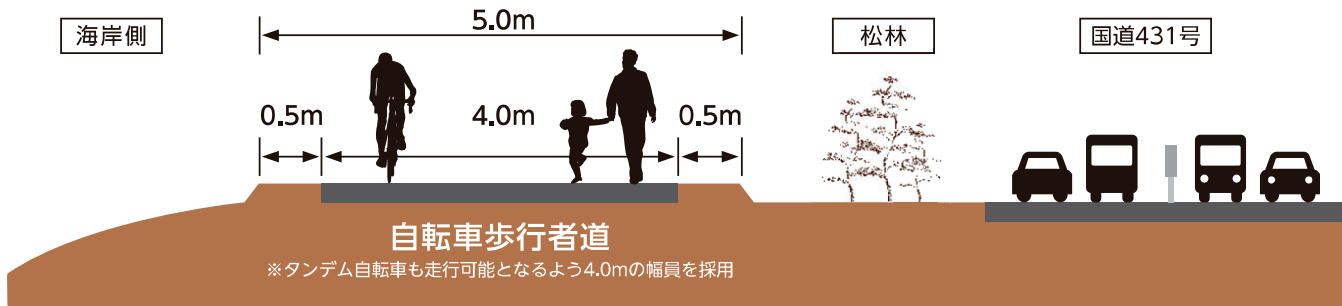
「白砂青松の弓ヶ浜サイクリングコース」が位置する弓ヶ浜半島は、白砂青松と日本海、大山が一望できる県内有数の絶景スポットであり、幹線道路である国道431号の沿線にはクロマツが植林され、飛砂防備保安林として白砂青松の一端をなしています。

近年、鳥取県西部の大山や弓ヶ浜半島周辺においては、美しい自然や風景を求め、国内はもとより海外からの観光客が増加していましたが、サイクリストが多く通行する国道431号は交通量が多い上に狭小な歩道しかなく、車道を走行されるサイクリストは危険を感じる状況となっていました。このため、新たに歩行者自転車専用道を整備することで、多くのサイクリストに安全かつ快適にサイクリングを楽しんでいただけるよう、整備の検討を進めました。

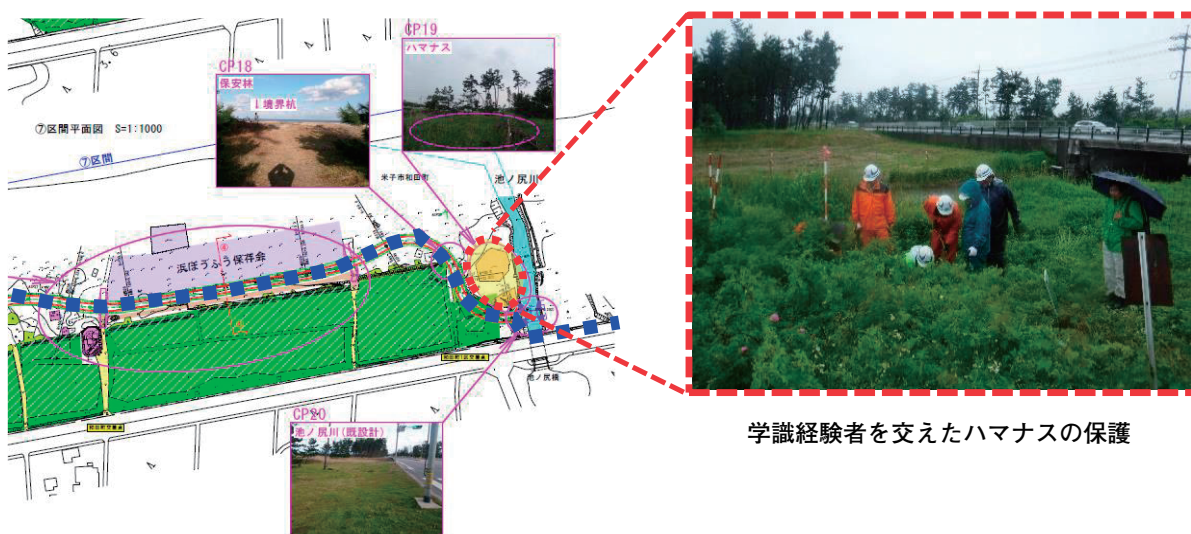
サイクリングコース整備に当たっては、保安林を管理する鳥取県農林水産部、海岸を管理する国土交通省と鳥取県、松林の保全のため植林や清掃活動を行う「弓ヶ浜・白砂青松アダプトプログラム」の地域団体等と協議し、松林の伐採を極力避け、砂浜を利用したルート選定を行いました。これによりサイクリングコースの利用者が白砂青松の絶景を楽しむことのできる好展望の自転車道を整備することができました。



標準断面図



サイクリングコース中盤には、希少種であるハマナスが群生しているエリアが点在していることから、学識経験者のご意見を伺いながらルートを検討を行い、ハマナス群生エリアを避けるようコースを大きく迂回させるルートを採用しました。これによりハマナスを保護するとともに、利用者の皆様にも美しいハマナスの群生を楽しんでいただけるコースとすることができました。



ハマナス群生域を迂回したルート設定

○タンDEM走行可能への取組

タンDEM自転車（2つの座席及びペダルが前後に並んだ構造を有する自転車）は、視覚障がい者の方もサイクリングを楽しむことができ、活用されていますが、本県内の一般公道における走行は、鳥取県道路交通法施行細則により一部に限られています（2019年4月から県内の一部で走行可）。このため、本事業では鳥取県視覚障がい者福祉協会、鳥取県障がい者スポーツ協会及び鳥取県警察本部と協働し、タンDEM自転車が走行可能となる規格の道路整備を計画し、サイクリングコースの一部（延長約7.8km）の区間においてタンDEM自転車の走行が可能となりました。

「今まで、タンDEM自転車が走行できる場所が少なく、タンDEMの講習会等は体育館で実施していた。これからは晴れて自転車道を走行できるようになり、うれしい。」と鳥取県視覚障がい者福祉協会からお言葉をいただいています。

また、タンDEM自転車の知名度は県民の間では決して高くありませんでしたが、昨年6月の本サイクリングコースの部分開通式において、鳥取県障がい者スポーツ協会のご協力の下、タンDEM自転車の試乗会を開催し、多くの県民の方にタンDEM自転車の体験をしていただき、タンDEM自転車を認知してもらうこ

とができました。

これを機会に、レンタルサイクルステーションにタンデム自転車が配備されました。



タンデム自転車



部分開通式（2019年6月）におけるタンデム自転車試走会

○終わりに

現時点では、新型コロナウイルス感染症の影響がどこまで続くのか見通せない状況ではありますが、早期の終息を願うとともに、終息後には国内外からの多くのサイクリストに「鳥取うみなみロード」を利用していただき、おもてなしできるように、関係機関が連携して準備を進めていきたいと思えます。ぜひ一度お越しください。